

## 事業所における自己評価アンケート結果(公表)

討議年月日: 令和5年12月1日

公表: 令和5年12月30日

事業所名 重症児デイサービス パッチワーク

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	子どもが遊ぶには十分なスペースがある	6	4		子どもが遊ぶには十分なスペースではないと意見あり。広くはないが整理整頓し遊ぶ場所を増やす
	2	職員の配置数は適切である	9	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	1		入口はスロープになっておりバリアフリー化されている。情報伝達も特性に合わせて工夫できている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	1		施設は清潔に保つよう努力している。湿度・温度も快適に過ごせる様調整している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1		業務における改善点があればスタッフで話し合いを行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		保護者向けの事業所評価でマニュアルがあることや、防災訓練している事をご存知ない方がおられるので周知していく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1		事業所評価の結果は医療法人もり小児科のホームページ内で公表している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	5		保護者向け評価は良いので現時点は外部評価を考えていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0		重デネットや二葉園などの各種研修会に積極的に参加している
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0		利用者全員、半年に一度児童発達支援計画書を作成している。ニーズや課題についてはスタッフで話し合いをして、希望者は相談支援を行っている
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	1	パッチワークは主に重症児がメインなのでアセスメントツールは使っていないが、自閉症傾向のある子どもは状況を把握できるようスタッフで話し合っている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1	1	子どもの困りごとに対する支援は、スタッフで親身になって一緒に考えている。必要時は相談支援専門員を紹介したり訪問看護やリハビリなど相談箇所につなげたりしている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	1	できている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	1	毎月保育士を中心に翌月のテーマや保育目標を考える話し合いを持ち、計画を立てている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	1	毎月今までのあそびを参考に新たな療育を考えている
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	0		その日の子どもの体調に合わせて個別活動や集団療育を行っている	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0		毎朝スタッフでカンファレンスを行い、支援の内容や役割分担は確認できている。またその場に居なかった人も周知できるようにトピックスはノートに記入し、共有している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4		必ずではないが問題点や気付いた点があれば話し合いを持っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0		毎日看護・保育記録を書き参考にしている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1		できている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0		主に児童発達支援管理責任者と当日の人員配置に余裕があれば保育士や看護師も同席している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	1		必要に応じて情報交換を行っている。今後も更に連携強化を図っていきたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10	0		地域の保健医療福祉は連携できている。今年度は特別支援学校で呼吸器ケアについて講演を行いスタッフと顔見知りになった。教育機関との関係性は今後築いて行けると感じる
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10	0		緊急時、早急に連絡が取れるように、利用者様の連絡カードを毎年更新し、すぐに見られるようにしている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	6	1	相談支援専門員がついている子どもは情報共有ができるが、そうでない子どもはなかなかそのような機会がない。移行支援は協力できる所はしていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	5		上に同じ
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	1	他の事業所や支援センターとはコロナが少なくなり、少しずつ交流が増えてきた。研修会も参加している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9	1	重症児の為なかなかそのような機会がない。今後は地域の園と交流を持ちたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	6		年2回開催されている南区子ども部会に参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0		送迎がないのでお迎えの時などにゆっくり話ができている。状況が変わったり方針が変わったりした時はスタッフで共有している
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	8		ペアレントトレーニングではないが、保護者と子どもの対応の仕方については都度お話をしている	
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	1	できている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		できている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0		できていると思う
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	8		保護者向けアンケートでこの度保護者会の開催を望むか質問してみたが、ほぼ全員が保護者会を望まない事が分かった

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	保護者から相談・申し入れがあった時はスタッフで話し合いできるだけ対応している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1	Instagramで日々の様子をお伝えし、連絡事項は公式ラインで発信している。行事予定は毎月予定表を配布している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	できている
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	意思疎通がむづかしい子どもは表情や仕草から感情を汲み取っている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	8	できていない
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染防止マニュアルは作成しており、年に一回見直している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	津波避難訓練は実施結果報告書を広島市危機管理室防災予防課に提出している。火事は机上訓練を行った。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0	事前に確認しているが、特に病院受診後は保護者に声を掛け、変わったことがないが聞いて確認している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	医師の指示書を参考に全員のアレルギーの一覧表を作成し注意している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	1 ヒヤリハット報告書に記載し、スタッフ間で共有・検討を行って再発防止に努めている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	スタッフで虐待資料の読み合わせをした
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	1 スタッフの数が多しもあり身体拘束を行う事はない。しかし常に意識を持っておく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。